

調査員募集！

熊本市国保をよくする会

「健康・暮らしと国保・医療保障の実態調査」に ご参加ください

今年9月に熊本市内で訪問調査を実施

日本は国民皆保険といわれていますが、実際には健康保険料を払えずに、医療にかかることができない人たちが増えています。

その多くが国民健康保険制度(国保)の加入者です。熊本市では、市民の約4割の世帯が国保に加入しています。その24%が保険料を滞納しています。理由は、保険料が高すぎるためです。その結果、食費や光熱費などを切り詰めたり、病院にかかるのを控えている人たちが多くいます。

市町村単位の国保は、社会保障の一環であり、社会保険に加入できない人たちを支える医療保障の受け皿です(あとは生活保護)。国保の制度崩壊によって医療にかかれない人たちが増えることは、住民の暮らしと健康を守る地域医療・地域福祉が何とかしなければならない課題です。

この調査は、熊本市の国保改善のための署名運動と一体的に取り組むアクションリサーチです。調査結果を生かして、市に対して、国保料の引き下げおよび短期保険証・資格証の発行停止を求めていきます。また、国に対しても、調査結果から提言を行います。

実施時期は今年9月中旬の1週間程度です。熊本市内で約700世帯を対象に、訪問対話方式の聴き取り調査を行います。

制度を改善していく実践的な運動と学習の輪にぜひご参加ください。

調査員を希望する方は、4回の学習会に参加してください。

6月～9月にかけて、月1回のペースで行います。

第1回目は6月18日(金) 午後6時30分～8時30分 熊本学園大学・4号館4階の44A教室です。

各団体の担当者あるいは高林(学園大学教員)まで、下記にご記入いただきご連絡ください(ファックスいただくと助かります)。

電話：096-364-7142(研究室) ファックス：372-0702(共同)

名前	所属
電話番号	メルアド
(参加希望理由)	
